

2022年度
ニュージーランド留学報告書
ワイカト大学
9月17日～1月21日

新潟国際情報大学
国際文化学科
21021070
田中志歩

目次

1. 留学先及び留学期間.....	3
2. 留学先概要.....	3
3. 留学目的.....	3
4. 留学内容.....	3
4-1. 留学のスケジュール.....	4
4-2. 留学の詳細.....	4・5
5. 当初目的・目標への達成度.....	5
6. 反省点・課題.....	5
7. 謝辞.....	6

付録

留学日誌と文化について.....	6・7・8
------------------	-------

1. 留学先及び実習期間

留学先：ワイカト大学

実習期間：令和4年9月17日（土）～1月20日（金）

※帰国は1月21日（土）

2. 留学先概要

(1) 大学について

ニュージーランド国立ワイカト大学（The University of Waikato）は1964年にハミルトン市に設立された大学である。学生数は約12000名でうちの2000名は88か国からの留学生である。キャンパス内には診療所やスポーツジムなど様々な施設があり、勉学だけでなく健康面のサポートも充実している。11個の学部から成り立ち、様々な研究分野で高い評価を得ている。

(2) 大学で行われている教育について

本学の派遣留学生は General English（一般英語）コースと Academic English（アカデミック）コースに参加した。一般英語コースではプレイスメントテストを受けて各自のレベルにあったクラスで日常生活の中で使う英語の習得を目指す。アカデミックコースでは英語力の強化に加え、英語圏の大学で必要とされるアカデミックスキルを学ぶ。8段階のレベルに分かれており、レベル7修了を目指す。

3. 留学目的

今回の留学における目的は英語力の向上と言葉や文化の異なる環境で生活することで新しい発見を得て自分自身の将来に役立て、人間性を高めることであった。以前から海外に興味があったことから現地で友達を作ることによって一生の外国語に対する意欲につながると考えた。日本には出会えない価値観を持った人々と英語を通して会話をすることをとても楽しみにしていた。また英語を使わなくてはならない環境で生活することで言葉と文化の壁を経験し、自分自身が何を考えるのか明らかにすることも目的の一つであった。

4. 留学内容

以下に留学スケジュールを記述する。

活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日	内容
9	18	到着、RAT テスト
	19	オリエンテーション、キャンパスツアー
	20	General English 開始
	22	イングリッシュクラブ開始
10	1	ホビトンツアー
10	9	ロトルアツアー
	17-21	Mid-assessments paper
	21	ハロウィンパーティー
	30	Academic English 開始
12	3	オークランドへ旅行
	17	サマーホリデー開始
	23	ホストファミリーとワイヒビーチへ旅行
	27	ウェリントンへ旅行
1	16-20	Final assessments paper
	21	帰国

時間割

午前の授業は 9:00～12:00 で間に 15 分間の休憩がある。午後の授業は 1:00～3:00 で同様に 15 分間の休憩が含まれている。金曜日の午後の授業は 2 クラス合同で行われる。

※GE…General English AE…Academic English

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	9:00～12:00	GE/AE	GE/AE	GE/AE	GE/AE	GE/AE
昼休み						
午後	1:00～3:00	GE/AE	GE/AE	GE/AE	GE/AE	2 クラス 合同授業

4-2. 留学の詳細

〈授業概要〉

・ General English

主に配布されるテキストの流れに沿って毎回授業を進める。クラスメートと授業内で会話することが多く、英語でのコミュニケーションスキルが身に付く。授業の進め方はクイズ形式であったりゲーム形式であったりするので speaking を中心に英語の 4 技能を楽しく学べる。

・ Academic English

主に配布されるテキストに沿って授業を進める。文法を学びながら新しく覚えた語彙で自分の体験を表現する Writing の練習をする。担当の先生が一人一人添削をするのでネイティブの表現を学習できる。パワーポイントを用いたプレゼンテーションも行う。各自の自主学習が重要になる発展的なクラスである。

5. 当初目的・目標への達成度

上記した通り、英語力の向上と国際問題を考えられる視野と人間性を高めることが目的であった。留学以前の弱点だったリスニングは以前よりもかなり向上したと感じている。スピーキングに関しては、話すことに対して自信がなかったが現在は自信がついたのでチャレンジ精神が以前より増している。ニュージーランドは様々なアイデンティティを持った人々が混在していたので、そのような人々と生活する中で英語を完璧に使うことよりも、伝えようと努力し、相手に対して思いやりを持つことが重要であると感じた。その結果、言語の壁が存在しても相互に良好な関係は築けるということを学んだ。

6. 反省点・課題

留学に行く前に文法や単語をもっと勉強しておくべきだったと後悔がある。留学期間は限られた時間しかないので中学・高校レベルの内容の復習に多くの時間を割かないように、復習は済ませてから出国するべきだったと思う。これからの課題は語彙力をさらに向上させて、海外の映画や動画を鑑賞することを通して様々な表現を身に付けることだ。加えて、日常的に英語を話すことを続けていきたい。

7. 謝辞

この度 4 か月という短い期間を素晴らしいものにしていただいたホストファミリー、現地で出会った友達、クラスメート、ワイカト大学職員の方々には留学期間たくさん支えてもらいました。また、今回の留学に携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方や快く留学に送り出してくれた両親のおかげで貴重な経験をさせていただいたことを実感しております。多くの方の尽力に深く感謝いたします。この度は誠に有り難う御座いました。

付録：留学日誌

ロトルアツアー	10月9日
ワイカト大学が企画・運営してくれるツアーに申し込むことができたのでロトルアツアーに参加した。羊のショーを見て、羊やアルパカに餌やりをして直接動物と触れ合うことができて楽しい思い出を作ることができた。また、ニュージーランドの先住民であるマオリ族が実際に暮らしている村を見学し、伝統的な踊りのハカを拝見した。	





テカプナビーチ

12月23日

ニュージーランドのクリスマスは多くの人がビーチで過ごしたり、遠出をしたりしてホリデーを楽しむ。24日、25日はスーパーや街のお店も営業していないところが多い。私はこのクリスマスにホストファミリーとビーチの近くの宿泊所を借りてゆっくりと過ごした。ニュージーランドは、ビーチはもちろんのこと空がとても鮮やかできれいだった。



ウェリントン博物館

12月28日

私がニュージーランドで訪れた博物館は学生証を提示すると無料で入場することができた。私は特にニュージーランドの首都であるウェリントンへ旅行した時に行ったウェリントン博物館がお気に入りだ。第二次世界大戦についての展示品は迫力があって忘れられない。休日に多くの人が博物館に来ていたことが、日本ではあまり感じたことがなかったので印象的だ。

